



祝讃 救主降誕
降誕祭祈祷日程

- ☆小樽教会
前 晩 禱 12月14日(土)午後4時
聖体礼儀 12月15日(日)午前10時
 - ☆札幌教会
前 晩 禱 12月21日(土)午後4時
聖体礼儀 12月22日(日)午前10時
 - ☆苫小牧教会
前 晩 禱 1月 4日(土)午後4時
聖体礼儀 1月 5日(日)午前10時
- ※12月24日、25日は祈祷を行いません

道央宣教セミ・ブロック機関紙
(札幌・小樽・苫小牧)

会 報

2024年11・12月号
No.413

札幌ハリストス正教会 発行



小樽ハリストス正教会

発行責任 司祭 エフテム後藤悠太

〒062-0042 札幌市豊平区福住2条2丁目3番1号

TEL:011-852-5644 FAX:011-856-0818

郵便振替 02790-8-4469

<http://www.orthodox-jp.com//>

E-mail haris-sp@bz01.plala.or.jp

誦経奉仕者研修会



く・聖歌の歌い方も等しく)など詳しい講義がありました。

実技では、初めて祈祷文を読む方も含めて全員に主日徹夜禱・聖体礼儀の誦経箇所が割り振られて、ご祈祷本番の誦経に臨みました。

聖歌も歌いながら、順番通りに誦経台に向かい祈祷文誦読を行うという段取りでしたが、皆さんスムーズに進められて、ご祈祷は素晴らしいものになりました。

10月19日(土)～20日(日)、函館、上磯、釧路、上武佐、小樽、札幌の各教会神品、信徒および受洗予定者、計20余名が釧路教会に集まり標記研修会が開催されました。

小樽は鈴木兄、札幌は加來・中野姉と傳法が参加しました。

初日の座学は内田神父様から誦経者(聖歌者)の手引き「神を畏れる者は」ほかのテキストを基に誦経を行う心構え、祈祷文の読み方(教会の伝統に従って正し



した。

研修の終わりに振り返りとまとめがあつて日程を終了しました。

最後になりましたが会場準備に当たられた釧路教会の皆様にご心から感謝申し上げます。
(パルメン 傳法 肇)

聖歌リーダー研修会

9月23日(月)、北海道ブロック聖歌リーダー研修会が札幌教会で開催されました。札幌管轄からはパルメン傳法兄(札幌)、パラスケワ中野姉(札幌)、ペラギヤ金田姉(小樽)、マトフェイ平井兄(苫小牧)が参加されました。

児玉マトシカの司会のもと各教会の聖歌隊についての現状報告がなされました。各教会の聖歌隊がそれぞれ様々な課題、意識を持っていることに改めて気づかされました。それから課題曲の「平和の憐み」を講師であるエレナ笠原姉(釧路)の指導によって練習しました。エレナ姉はハーモニーの中のどの声部を強調したらよいのか、またどのパートの音の流れに注目すべきか、



といったことを中心に指導されていました。さらには各教会のリーダーが実際にどのように指導するか、ということを実演しました。人の指導からは学ぶことが大きかったと思いますし、同じ聖歌であっても様々な角度から指導することができる可能性を参加者の方は見出せたのではないかと思います。

聖堂修理について



8月中旬から始まっています札幌教会の聖堂の修理ですが、足場を建てる基

準を定める法律が変わったこと、また聖堂の壁の傷み具合が思ったよりも大きく(足場を建てて見なければ見えない部分もありました)、鐘楼の柱に亀裂があつた等の理由により当初の見積もりより工事費が160万円上がりました。聖堂修理献金は皆様の御協力により10月20日の段階で総額140万円となりました。200万円の目標額まで引き続き皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

宣教リモート会議

8月24日(土)、北海道ブロック宣教会議がリモートで開催されました。札幌管轄から

は私後藤のほかに、宣教委員であるグリゴリイ森川兄(札幌)、ステファン鈴木兄(小樽)、

マトフェイ平井兄(苫小牧)が出席しました。

まず苫小牧教会で行う予定であった拡大宣教会議は5月4日(土)、5日(日)の日程で開催することを決定いたしました。苫小牧教会の復活祭に合わせて行います。

さらに来年度の北海道ブロックの予定を仮決めいたしました。近年ホテルをとることが難しくなっておりますので、なるべく早めに決めていきたいという方針がブロック長のステファン内田神父様が改めて出されました。

次に2026年度のキャンプをどのようにするか話し合われました。バス代が20万円かかっているのが自家用車の移動にすべきではないか、東北と合同で行う方法も考えられないか、など様々な意見が交換されました。さらに2026年度以降は土、日で開催する選択肢もとることが決定されました。また、キャンプは子供用に合わせ、大人用に信徒懇親会の開催を検討していくこととなりました。

婦人会だより



9月8日のはぎの会には昨年よりも多い15名の方が出席されました。付き添いの方、お手伝いの方総勢24名、近況を伺い、青山兄の伴奏で歌の後、恒例になったフラダンスを幅広い年代の方々に踊り、来年の再会を楽しみに閉会しました。

9月18日の奉仕日は8名で、前庭の草刈り枝切りなどをしました。星見姉からアイスクリームの差し入れがあり労働の後の喉を潤しました。ご奉仕ありがとうございます。

10月2日の見学会は14名で白老町の国立博物館ウポポイに行ってきました。映画でアイヌの歴史と文化を知り、ムックリ(口笛)や歌、踊りの伝統芸能を鑑賞しました。その後限られた時間でしたが博物館やチセなどは自由に見学し、昼食後道の駅に寄りながら、教会で解散しました。

(パラスケワ中野良恵)



ミハイル兄 ロシアへ



昨年ロシアから日本へ留学し、北海道大学で日本語・日本文化を学ばれていたミハイル兄ですが、8月28日の生神女就寝祭の聖体礼儀を最後にロシアに帰られました。札幌教会では堂役の奉仕をしたり、聖堂修理のパンフレットのロシア語訳をつくっていただきました。ミハイル兄が帰られる

のは寂しい限りですが、ロシアに帰ってから
も日本語の研究が続けられ、さらにロシア教
会で開いている誦経の研修会を受けて正
教会への学びも深めたいという希望をお持

ちでした。ロシアに帰ってからも神様の恵み
が一層豊かにミハイル兄に降り注ぎますよう
お祈りしています。

ベレズィコフ・イオアン君 洗礼

10月4日(金)、札幌教会にてベレズィコ
フ・イオアン君(9か月)が洗礼を受けられま
した。代父はシャトロフ・セルギイ兄、代母
はペトロヴァ・アナスタシヤ姉です。アナスタ
シヤ姉には信経を唱えるなどのお手伝いを
していただきました。聖名はイオアンで聖使
徒イオアン(10月9日記憶)が守護聖人で
す。



ニーナ石原富美子姉 永眠

9月9日(月)朝6時頃、ニーナ石原富
美子姉が永眠されました。88歳でした。
札幌教会の聖堂にて11日(水)に通夜パ
ニヒダ、12日(木)に埋葬式が行われまし

た。息子さんは、母は趣味の旅行に行く
こともたびたびあり、充実した人生を送
ることができたと思うとおっしゃって
いました。

アキリナ日野武子姉 永眠

9月25日(水)午後3時頃、苫小牧教会所
属のアキリナ日野武子姉(96歳)が永眠され
ました。日高町の「はなとくセレモニーホー
ル」にて27日(金)に通夜パニヒダ、28日

(土)に埋葬式が行われました。アキリナ姉の
お父様であるマルコ佐藤善作兄のお話を
長男であるネストル日野昇兄からお聞きす
ることができました。

マリナ山田陽子姉 永眠

マリナ山田陽子姉(89歳)が10月6日(日)
朝1時頃永眠されました。6月くらいまでは
参拝され元気な姿を見せられていましたが、
その後入院され、そして緩和ケアを受ける

ために転院したばかりでした。札幌教会の
聖堂で10月8日(火)に通夜パニヒダ、翌9
日(水)に埋葬式が行われました。

ワシリイ山田清兄 永眠

小樽教会所属で、これまで小樽教会の聖
堂の整備に努めてくださっていたワシリイ山
田清兄が10月8日(火)朝11時頃永眠され
ました。86歳でした。小樽教会の聖堂にて
10日(木)に通夜パニヒダ、11日(金)に埋葬

式が行われました。「堂の美なるを愛する者
を聖にせよ」とありますように、ワシリイ兄の
魂が神様によって清められますようお祈りし
ます。